

山口東

〒745-0073 周南市代々木通1-28
 電話0834・31・0018 FAX31・0020
 sei.shunan.office@mainichi.co.jp

【通信部】 購読相談室
 岩国 麻里布町 0120-547012
 0827・21・0413 (平日10-18時)



6日にあった点灯式で「弘前ねぶた」の山車灯籠(左)と競演する金魚ちょうちん

青森の「扇ねぶた」と競演

柳井

13日に3年ぶり「祭り」
 金魚ちょうちんが点灯



「白壁の町並み」に登場した、金魚ちょうちんのルーツとされる津軽地方の郷土玩具「金魚ねぶた」

柳井市で夏の風物詩、金魚ちょうちんの点灯が始まった。金魚ちょうちんのルーツとされる津軽地方の郷土玩具「金魚ねぶた」や、青森県弘前市の市民有志を招いて制作した「弘前ねぶた」の山車灯籠「扇ねぶた」1基も登場し、金魚ちょうちんと競演している。

市内の観光名所「白壁の町並み」で6日夕に点灯式があり、井原健太郎市長らがスイッチを押すと、町並みからJR柳井駅前に飾られた金魚ちょうちん約4000個が一斉に明かりがともされた。金魚ちょうちんと金魚ねぶたの点灯は31日まで、午後7〜10時。扇ねぶたは12日まで白壁の町並み内で点灯され、13日に3年ぶりに開かれる「柳井金魚ちょうちん祭り」では駅前、麗都路通りに展示される。【大山典男】

両監督

夏の高校野球
 甲子園

富島浜田 登監督

できれば1点

試合運びに合わせて投手の曰高。捕手が構えたところ

長崎原爆の日
 ゆだ苑で追悼式

山口

長崎原爆の日の9日、山口市の県原爆被爆者支援センター「ゆだ苑」で追悼式が開かれた。参加者らは原爆投下の午前11時2分に合せて黙とうをささげ、祭壇に花を手向け、犠牲者を悼んだ。式では、ゆだ苑の八代拓理事長が「平和な時代が続くほど原爆の

記憶は風化するが、傷痕は今でも確かに存在する。どうか今日はその傷痕に心を寄せて、亡くなった方に追悼の気持ちに向けていただきたい」とあいさつ。被爆者を代表し、長崎市で被爆した市川倭文枝さん(91)「防府市」が「私たちが世界中で最後の被爆者であるという世の中にしていかなければならない」と力を込めた。

【森紗和子】

箱形のシェアオフィス

JR東・西徳山駅に2台設置

JR東日本とJR西日本は共同で、テレワークができる箱形のシェアオフィス「STATION BOOTH」

県内初となる9日に開業は1人用の個室、縦横1線の高さ2・3センチ、電源、USBセント、Wi-Fiなどを備え、持



無念

父は旧満州で3人の子供を得て、仕事に没頭していた。敗戦で一変。苦難の引き揚げ直後に母は疲れて病死。父の弟も連年の突然の参戦で終戦4日前に20歳で戦死。父は再起を目指して頑張ったが、得心のいく仕事にめぐまれない。

はがき随筆

「戦争ですべてが狂った」と量り売りの1合の酒をなめるように飲みながら愚痴った。母の肺病が伝染して人生を不完全燃焼のまま44歳で亡くなる。残された家族の傷痕は深く、今に続く。加齢とともに、8月の重みが増すようだ。